



未来を拓く 愛荘16年教育



今年度4月から、「未来を拓く愛荘16年教育」がスタートしました。この教育は、母親のおなかの中で生を受けた胎児が、義務教育である中学校を卒業するまでを「人生のベース（基礎）を確立する16年」と捉え、心身の発達を育んでいくものです。子育て・保育・教育にかかる施策を全庁・全町的に取組み、16年間の積み上げを図っていきます。

未来を拓く意欲に満ちた「愛荘っ子」

「未来を拓く愛荘16年教育」

中学校卒業

中学校入学

小学校卒業

小学校入学

保幼卒園 (5才児)

乳児期

胎児期

豊かなコミュニケーションを育む取組 (国際理解、外国語等)

メディアコントロールされた生活習慣の確立

※4 「愛荘スタンダード」の実践

読み聞かせ、読書の「乳保幼小中」一貫教育

※5 お母さん、お父さんへの支援・啓発・教育相談活動

キャリア教育
こころざしの教育

豊かなつながり、
人権感覚・感性
(人権教育)

郷土学習

食育の推進

自然に親しむ活動

※3 自尊感情の育成
メンタルヘルス
予防教育

温かい親子関係
家族コミュニケーション

※1 RST等調査による
分析・検証・改善

個別最適化された学び
(タブレットドリル等
ICT機器活用)

※2 「NIE」
「朝読」
「並行読書」…

「一人勉強」
できる力の育成

「読み」「書き」に関する
徹底教育

授業改善 (主体的・対話
的で深い学びの充実)

自尊感情の育成
(お誕生会の取組)

※3 自尊感情
長所も短所もひっくるめて、
自分自身をかけがえのない存在
と思う気持ち。

人の脳の前部分、「前頭前野」を活発に働かせることは、子どもたちの健全な育成につながります。

「読み・書き・計算」を毎日少しずつ継続的に取り組むことで、前頭前野を鍛えることができると言われています。



ALTとの
外国語学習



※4 愛荘スタンダード
学習するうえで大切な
ことをまとめています。



ボランティアによる
読み聞かせ



おひざでだっこ
おはなしかい

※5 お母さん・お父さんへの
支援・啓発・教育相談活動
就学前の時期においては、福祉部門
(健康推進課等)と教育委員会が連
携を密にして、取組を推進します。



子育て支援センター
「わんぱく広場」

タブレットによる
朝学習



※1 リーディングスキルテスト (RST)
文章、図やグラフ等書かれている意味を正確に捉える力
(基礎的な読む力)を測定・診断するテストで、その結果
をもとに、学力向上につなげる取組を進めます。

※2 NIE
新聞を教材として活用し、読解力の向上、興味・関心の幅
を広げる取組のことをいいます。

郷土学習
(古墳公園)



授業改善
(学力向上)



自然に親しむ活動 (稲刈り体験)

脳の発達・成長を促す取組
「減メディア・親読書」

しなやか たくましい
心身を 育む取組

基礎的読解力を
育成する取組